

# 津山ふぁみ・さぽミニ通信

津山ファミリー・サポート・センターは開設からまる 17 年になります。

この間、約 1700 人の登録がありました。依頼会員は、子どもの対象年齢に伴って毎年入退会があります。また、提供会員も生活状況の変化などによる退会がありますが、総会員数は、ここ数年 1000 人余りを推移しています。

センターでは、厚生労働省が推奨する内容の講習会を年間 3~4 回開催しています。提供会員の皆さんにはできる限り受講し知識や技術を身に付けて活動して下さるようお願い

しています。

また、センターでは、市民の皆さんに活動を広く知っていただくため、いろいろな方法で広報活動をしております。

今年 8 月からは毎月、県北タウン情報誌「AKEN」にサポート風景を紹介しています。写真撮影のため現地に行くと、提供会員さんが、依頼会員の子どもさんに笑顔で優しく関わってくださっているようすを拝見できます。提供会員の皆さんには、安心安全なサポートを心掛けていただき改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

## 交流会の報告



### 出前ミニさろん & 提供会員交流会

平成 29 年 6 月 16 日、一宮公民館で「出前ミニさろん」を開催しました。近くに住む会員や久しぶりに参加する会員など、少人数ながら、サブ・リーダーの皆さんと気楽にしゃべり、ゆったりとした時間を過ごしました。

親子が帰った後の提供会員交流会では、子育てや子どものような話題が出て盛り上がりしました。

## 「さん・さん祭り 2017」

### 初心者でもできる土ひねり

平成 29 年 10 月 21 日、勝北陶芸の里指導員の花岡勉さんをお迎えし、備前焼の土ひねりを楽しみました。親子連れの参加者や会員などが、和やかな雰囲気の中で、皿やカップ、干支の犬などを懸命に作りました。作品が焼き上がるのが待ち遠しいようでした。



### 展示コーナー



10 月 21 日・22 日、4 階の文化展示ホールでも、ファミ・サポの行事や活動紹介などの展示をしました。

展示を見てアンケートに回答くださった方には折り紙の手作り作品を差し上げました。

# 子育てサポート講習会の報告

## 5/21 「支援の必要な子どもの理解と関わり方」

講師 吉田英生さん（津山市立北小学校校長 特別支援教育士）



一昨年も好評だった吉田先生の講演会には多くの方が参加され、関心の高さを感じました。具体的な事例や体験を交えながらお話された講演内容の一部を紹介します。

- ・子どもたちと関わる際には「人間には違いがある」ということを大前提とし、また、「できて当たり前」という前提は持たない。
- ・足りないところ、苦手なことがあれば、環境を整えて支援する。（理解をして支援をする）
- ・周りの人ができることとしては、発達障害のある人や、その家族の暮らしに思いを寄せること。そのための正しい知識を持つこと。子どもの育ちに関して悩んでいるような親に、地域の身近な相談役として、適切な相談の場があることを伝えること。などが大切とお話でした。受講者からは、学んだことをそれぞれの立場でいかしていきたいとの感想が寄せられました。

### 子育てのヒント

～やって見せ、言って聞かせて、  
+ 見せてやり、やらせてみ、  
ほめてやったら子どもは育つ～

## 7/6 「乳幼児安全法 ～子どもを守るのはあなた～」

講師 日本赤十字社岡山県支部 指導員



今回初めて、日赤岡山県支部の指導員お二人をお迎えして、子どもの成長と発達に伴う事故やけが、また、その対処法を教わりました。お二人のユーモラスなお話に参加者の緊張感も和らぎ、心肺蘇生法やAEDの使い方を全員が積極的に体験しました。

参加者の感想を紹介します。

- ・大人と赤ちゃんの心臓の位置を知り、AEDの使い方を体験できて良かったです。自分の子どもに何かあった時も落ち着いて行動したいと思います。
- ・実際の現場では瞬時の見極めと次の行動が必須と思いますが、こうした練習を繰り返して実行できる訓練が必要だと思います。
- ・何度習っても、いざやろうと思うとドキドキします。経験できる時に参加したいと思います。また、誰でも一度は今日のような講習を受けておいた方が良いでしょう。
- ・乳幼児の一次救命処置は初めてで大人とは違うことが多く、ためになりました。
- ・先日、孫が飴を喉に詰まらせ出し方がわからず慌てました。異物を詰ませた時の対処法も教わり大変勉強になりました。ありがとうございました。

## 9/2 「初心者マークの親にうまく寄り添うには」

講師 赤迫康代さん

（NPO法人子ども達の環境を考える ひこうせん代表理事）



赤迫康代さんの講座は、班に分かれて行うグループワークが中心です。下のように進められます。

- 1 3つのテーマ（子育て中の親の困り感、どのようなサポートに取り組んでいるか、これからやってみたいこと）について全員が思っていることを紙に書き上げる
- 2 一人ずつテーブルの台紙に貼る。内容が似たものはまとめて貼る
- 3 書かれたことについてグループで話し合う

このように提示されたいくつかのテーマで話し合うことで、グループの考えがまとまっていきます。

参加者の感想を紹介します。

- ・自分が子育てしていた時のしんどかった思いを思い出しました。普段仕事で親子のサポートをすることがあるので、接し方がまた変わると思いました。
- ・子育て支援の立場からだけでなく、社会との関わりが自分を育てることにつながると思いました。
- ・自分たちで考えて意見を出しながら進めていく方法で、深い時間が持てました。先生の進め方で、自分の気持ちも進化していったように感じました。

## ： 会員のページ はリニューアルしました ！

このコーナーでは、会員さんにスポットを当ていろいろな方を紹介していきます。最初は、地域のお世話役 6 人のサブ・リーダーさんを順番に紹介していきます。個性豊かな皆さんのなかでお楽しみに。

今回は、この2つを紹介します。作り方は簡単ですよ。

### 間庭早苗さんの手作りおもちゃ紹介

**段ボールのおうち** 作り方  
 大き目の段ボールのふたの面を折り曲げて屋根を作る。側面にドアを描き、1辺を残し、カッターナイフで切りぬく。他の側面に窓を描きくり抜く。カラーのガムテープでドア、窓、屋根などを補強する。  
 (カーテンを付けたら本格的！)



たのしいよ～



### 牛乳パックのサイコロ 作り方

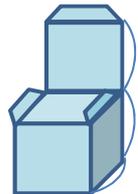
牛乳パックを右図のように切る。( は同じ長さ)

の部分を折り込んで蓋をしてテープで止める。(中に鈴を入れても楽しい)

6面にサイコロの目やイラストを描く。  
 (色紙で形を作って貼っても良い)



12辺にビニールテープを貼って補強し、全体を透明なテープでおおう。



もてたよ～



この原稿を書くように言われ、何を書こうか  
 考えていると、子育てであるあるがいいんじゃないと  
 提案して頂きました。  
 小三の息子と五才の娘の子育て中なので、  
 少し意識しながら毎日を過ごしていると、叱ることが  
 多いなあ、と感じていました。  
 「使った物は片付けなさい。」  
 「テレビは、やる事を済ませてからよ。」  
 と自分が子供に言っている言葉を振り返って  
 みると、そっくりそのまま自分にも当てはまること  
 ばかり。子供達が片付けた後のリビングには私の  
 物が残り、アイロンがけをしないといけないなあ、と  
 思いながら、テレビを見ている私。  
 親の姿を見て子供は育つと言いますが、正に  
 その通り。口ばかりにならないようにしよう、と  
 反省する今日このごろであります。



香山景子さんの「子育てであるある」

~ご参加ください~

### 子育てサポート講習会

「司書さんに聞く『絵本と子ども』の話」

と き 11月15日(水) 10:30~12:00

と ころ アルネ・津山5階「さん・さん」

内 容 手作りおもちゃや遊びの紹介  
津山市立図書館副館長  
大河原信子さんの話

託 児 申込必要

~ご参加ください~

### クリスマス交流会

と き 12月16日(土) 13:30~15:00

と ころ アルネ・津山5階「さん・さん」

内 容 ・人形劇、手遊びなど  
(美作大学児童文化研究部)  
・サンタさんからプレゼント

参加費 ひとり150円

## お知らせ

~年末年始の休館日~

12月29日(金)~  
1月3日(水)は  
お休みします。

~ミニさろん~

12月はお休み  
1月24日(水)  
2月28日(水)  
3月28日(水)  
いずれも10:30~12:00  
「さん・さん」和室で開催  
します。

~ご覧ください~

ファミ・サポの記事を  
岡山県北タウン情報誌  
「JAKEN」に毎月掲載  
しています。

興味深い  
子育ての  
本を紹介

アドバイザーの

## ふあみばなし

### 「パパは脳科学者」

著者：池谷 裕二

若き脳科学の専門家でイクメンパパが、わが子の発育の段階に合わせて、脳の発達と機能の原理をわかりやすく解説、楽しみながらの子育ての日々を記録したものです。今話題の本です。

### 「完璧な親なんていない！」

著者：ジャニス・ウッド・キャタノ

翻訳：幾島 幸子

カナダ生まれの子育てテキストです。内容は、親、しつけ、こころ、安全、からだの5つの章にまとめられています。どの章も現代の様々な問題を取りあげた内容となっています。

こちらはファミ・サポ文庫にもあり、貸出できますよ。

お問い合わせ 津山ファミリー・サポート・センター

TEL: 31-8753

〒708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内

<開館時間> 月・水~金曜日 10:00~19:00 土・日 10:00~18:00

<休館日> 毎週火曜日・祝日・年末年始

会員1,022人 (依頼会員531人 提供会員431人 両方会員60人) (H29/10/31現在)